

YAMAHA MIXING CONSOLE MG06X MG06 取扱説明書

ZT44170 JA 保証書付

ごあいさつ

このたびは、ヤマハミキシングコンソールMG06X / MG06をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。MG06X / MG06のさまざまな機能を十分に活用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管いただきますようお願いいたします。

*本書では、ミキシングコンソールを「ミキサー」と呼びます。

**本書では、イラストはMG06Xを使用しています。

特長

- 入力端子にマイク入力やステレオ/モノラルのライン入力を備えた6チャンネルミキサー。
- 高音質を実現するヤマハ プレミアムヘッドアンプ[D-PRE]の搭載。
- チャンネル1/L、2/Rに、幅広い入力に対応するPADスイッチを搭載。
- (MG06X) ヤマハSPXグレードの高音質なエフェクトを6種類内蔵。

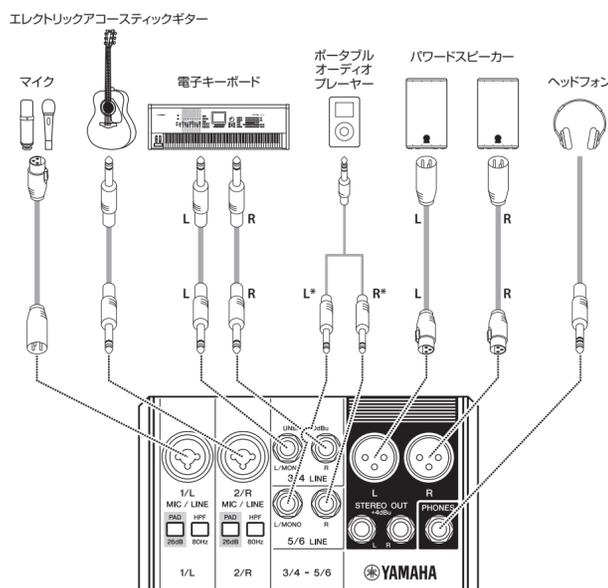
付属品(お確かめください)

- 電源アダプター
- Technical Specifications (英語) : ブロック図、寸法図、一般仕様、入出力仕様が記載されています。
- 取扱説明書(本書) : 保証書は、裏面にあります。

クイックスタートガイド

STEP 1 スピーカー、マイク、楽器などを接続する

接続例

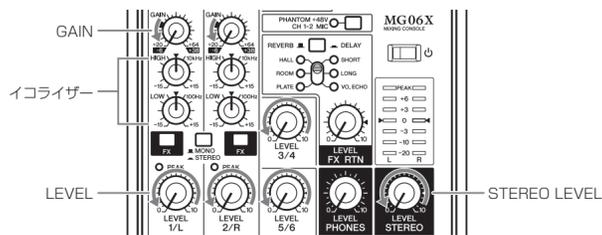


*ステレオミニプラグにはフォーンプラグ対応の変換プラグが必要です。

STEP 2 スピーカーから音を出す

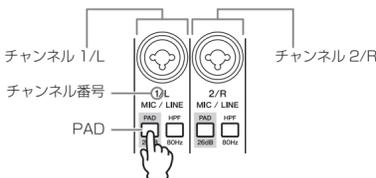
- 1 本体の[ON]スイッチを含む、すべてのスイッチが押されていないこと(■)を確認します。
- 2 付属の電源アダプターを接続します。本体背面のDC IN [12V]端子に接続してから(①)、コンセントに接続します(②)。
- 3 [GAIN] ツマミ(白)、[LEVEL] ツマミ(白)、[STEREO LEVEL] ツマミ(赤)を左に回しきります(最小にします)。イコライザーつまみ(緑)をセンター位置「▼」に合わせます。

右上のイラストを参照してください。➡



- 4 チャンネル1/L、2/Rに出力レベルの大きい機器(例: CDプレーヤー、電子キーボード)を接続したときは、各チャンネル*の[PAD]スイッチをオン(■)にします。

*チャンネル: 音を入力する場所



NOTE コンデンサーマイクを使用する場合は、[PHANTOM +48V]スイッチをオン(■)にします。



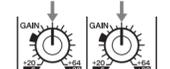
- 5 (マイク)、(楽器)、(オーディオ機器) ➡ 本体の[ON]スイッチ ➡ (■) (スピーカー)の順に電源をオンにします。

注記 スピーカーから大きなノイズが出ないようにするため、上記の順に電源を入れてください。電源をオフにするときは、逆の手順で行ってください。

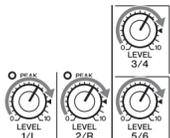
- 6 [STEREO LEVEL] ツマミを「◀」の位置に合わせます。



- 7 マイクを接続したチャンネルの[GAIN] ツマミを12時の位置に合わせます。



- 8 マイク、楽器、オーディオ機器で音を出しながら、[LEVEL] ツマミを回して各チャンネルの音量を調節します。



- 9 必要に応じて、スピーカーやパワーアンプの音量を調節します。音が出れば、完了です。音が出ない場合は、手順10に進んでください。

注記 電源をオフにするときは、スピーカーから大きなノイズが出ないようにするため、スピーカー(パワーアンプ)→本体→楽器などの音源の順に電源をオフにしてください。

- 10 音が出ない場合や、音量を調節したい場合は、以下の枠内の操作を行ないます。以下の操作を行なっても音が出ないときは、裏面の「困ったときは？」のチェック項目を確認してください。

■ 音が出ない、音量を大きくしたい

- 1 [PEAK] LEDが一瞬点灯する程度まで[GAIN] ツマミを右に回します。

NOTE [GAIN] ツマミを右に回しても[PEAK] LEDが点灯しない場合は、楽器などの音源の音量を上げてください。

上記の手順で音が出ない、または音量が大きくなりすぎる場合

- 2 [PAD] スwitchがオン(■)になっている場合は、[LEVEL] ツマミを左に回して「0」(最小)にしてから、オフ(■)にします。

- 3 [LEVEL] ツマミを徐々に右に回して音量を調節します。

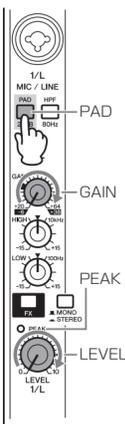
■ 音量を小さくしたい

- 1 [LEVEL] ツマミを左に回して「0」(最小)にしてから、[PAD] スwitchをオン(■)にします。

- 2 [LEVEL] ツマミを徐々に右に回して音量を調節します。

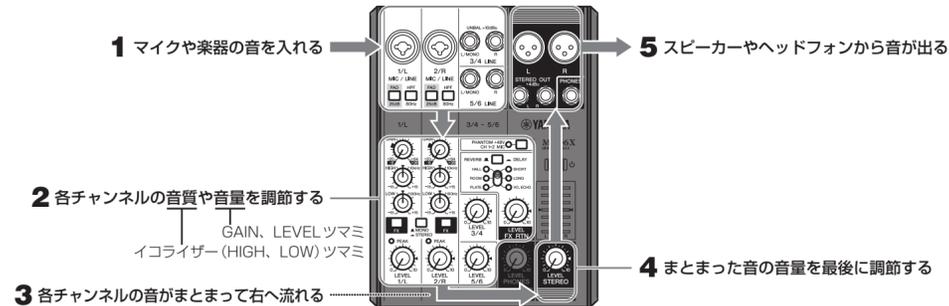
上記の手順で音量が小さくなりすぎる場合

- 3 楽器やオーディオ機器の音量を下げます。



ミキサーの基本: 音の流れ

右の説明イラストは、チャンネルに入力した音が1つにまとまって、スピーカーやヘッドフォンから音が出るまでの音の流れを示しています。入力した音がミキサーの中でどのような経路で流れていくかを理解しましょう。



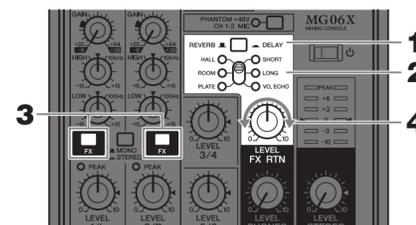
エフェクトをかける(MG06X)

MG06Xは、ヤマハマルチエフェクターSPXシリーズと同クラスのリバーブ(残響音)とディレイ(遅延)のエフェクトを内蔵しています。以下の手順でエフェクトをかけることによって、コンサートホールやライブハウスで演奏しているような音の広がりや響きが得られます。

- 1 [REVERB] / [DELAY] スwitchを使って、リバーブ(■)またはディレイ(■)を選びます。

| エフェクトの種類 | 内容 | |
|---------------|---------|-----------------------------|
| REVERB (リバーブ) | HALL | コンサートホールをシミュレートした残響音 |
| | ROOM | 小さな空間(部屋)での響きをシミュレートした残響音 |
| | PLATE | 鉄板エコーをシミュレートした残響音 |
| DELAY (ディレイ) | SHORT | 音が二重(ダブリング)に聞こえる短いエコー |
| | LONG | 音が繰り返し響きながら小さくなる、やまびこ効果のエコー |
| | VO.ECHO | カラオケ用途に最適なエコー |

- 2 エフェクト選択スライドスイッチを上下に動かして種類を選びます。選ばれているエフェクトのLEDが点灯します。
- 3 エフェクトをかけたいチャンネル(1/Lまたは2/R)の[FX] スwitchをオン(■)にします。
- 4 [FX RTN LEVEL] ツマミを回して、エフェクトのかかり具合を調節します。



各部の名称と機能

